

令和元（2019）年度 「住まいとコミュニティづくり活動助成事業」 （住まい活動助成部門） 中間報告

団体名

つげ野の森市民ネットワーク・黒谷プロジェクト

活動のテーマ

伝統建築再生に伴う学生への技術継承と里山体験空間の創出

9月までに達成できた事項(箇条書き)

- * 新年度に入りメンバーが入れ替わりましたので、名城大学と豊橋技術大学の学生間の交流を深める、「交流合宿」を4月に実施しました。
- * 名城大学グループが蔵の改修計画を決めるにあたりコンペを用い、さらには黒谷プロジェクトメンバー全体で蔵の改修計画（蔵ホール建設）案の決定を行いました。
- * 蔵内部の物を選別し、廃棄するものと保存するものとの仕分けを行いました。この過程で蔵の中から大型の漆塗りの山鉾が見つかりました。旧鳳来町の物かと思われたので、新城の自治体の博物館に寄付を申し出ました。しかしその後、名古屋市中区のものだとわかり、黒谷家で保管することになり、一時的に蔵の二階に移動させました。また、この過程で門谷地域のみなさんが蔵を訪問してくださり、地域の人々に蔵の紹介が行えました。
- * 忌門と玄関の小舞竹を左官さんから指導を受け修復を行いました。
- * 「黒谷プロジェクト」における8年間の活動記録を展示する部屋を作成するために、屋根裏部屋の壁を修復しました。その際、光が入って資料が痛まないように、古い屋敷にふさわしい木製のブラインドの設計も行いました。

今後の活動予定と令和2年3月末時点の達成予定項目

- * もみじまつりに今年度の成果が地域に発表出来るよう仕上げる。発表のパネルを作る。
- * 蔵1階部分の床を天然杉材で貼り、「蔵ホール」を仕上げる。今後、屋敷全体を使ってセミナーなどを開催出来る様にする。11月23日もみじ祭りまでの完成を目指す。
- * 完成させた蔵ホールを使い地域の方が主役のドキュメンタリ映画「あちゃんの移動販売車」の上映会を行う。
- * J Aや新城市に監督招聘の負担を要請する。
- * 忌門の修復を完了する。
- * 豊橋技術大学グループが玄関部分の鎧壁の修復を行う。
- * 屋根裏部屋の黒谷プロジェクト資料展示室の木製ブラインドを完成させる。
- * 地域の方を招待して屋敷修復活動報告をする。

2019 年活動中間ビジュアル報告

つげ野の森市民ネットワーク・黒谷プロジェクト

名城大学・生田研究室に出向いて、新しいゼミ生に主体的に取り組んでもらいたいため、黒谷プロジェクト（以後黒プロ）の今までの経過やこれからの課題など話しました。

蔵の実測は3人一組で2グループを作り、各グループの計測の値が同じなら、正確です。もし違っていれば間違い値であるため測り直しです。昨年この実測に間違いがあり、出来上がりに大変な失敗がありました。



今年は望月さん(指導の宮大工)から指導を受けて実測をいたしました。

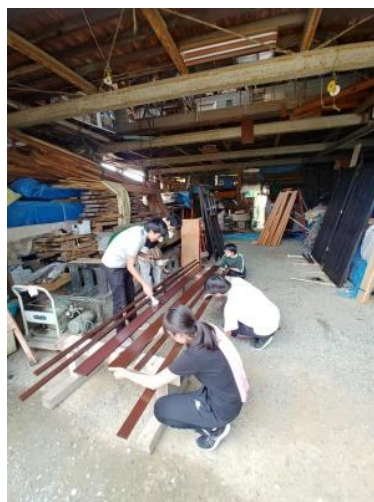
蔵内部の片付けは相当大変な作業でした。



ひとまず散乱していたものを、「捨てる」「保存する」と弁別して「燃やす」「2階にあげて保存」「市の教育委員会に寄付する」「産廃に運ぶ」等 大勢の学生さんの力でやれました。



並行して忌門・玄関・屋根裏資料室・蔵などに使う壁土の発酵を望月工務店の作業場で指導してもらって練りました。寝かすこと数ヶ月9月に塗りました。



小舞だけを編んだり、練った土壁を個人指導で壁塗りを経験いたしました。

